

認知症高齢者のグループホームに関する研究 その6

—千葉県内のグループホームを対象として—

日大生産工 川岸 梅和
日大生産工（院） ○小泉 真規
日大生産工（院） 山根 恭介

1. 研究の背景

平成17年5月1日現在、総務省統計局による我が国の総人口は1億2753万人である。65歳以上人口は約2532万人となり、総人口の19.9%を占めている。上記の人数は確定値であるが推定値では既に高齢者率は20.0%を超えており（平成17年9月19日の敬老の日に新聞発表）、日本は世界に類を見ない速さで超高齢社会^{*}1)を迎えた。今後も日本の高齢者率は増加していくと考えられ、国立社会保障・人口問題研究所の発表では2014年に国民の4人に1人が高齢者となり、2041年には3人に1人が高齢者になると予測している。高齢者人口の増加に伴い認知症高齢者も増加すると考えられ、2000年には約158万人であった認知症高齢者は2010年には231万人、2020年には300万人を越えると予測されている。このような超高齢社会において、認知症高齢者ケアに対して有効であるとされるグループホームも急速に増加し、平成17年9月30日現在全国で7,224箇所^{*}2)に達しており今後も増加すると考えられる。グループホームが増加するにしたがい、グループホームの質が問われ始めてきている。グループホームの第三者評価の義務付けや、職員の研修制度などはその現われといえる。

2. 研究の目的

本研究では、千葉県内の認知症高齢者グループホームの平面構成、面積構成、周辺環境および高齢者の生活状況を訪問調査により把握し、介護責任者・スタッフへのアンケート調査・ヒアリング調査を行い、種々の観点よりグループホームの類型化を行い、類型ごとに比較・検討し、各々の特性を明らかにし今後のグループホームに活かすことを目的としている。

3. 調査の概要

平成17年3月31日現在、千葉県より指定認知症対応型共同生活介護の認証を受けたグループホーム（180箇所）

所）に対して、介護責任者及び介護スタッフへのアンケート・ヒアリング調査、及び住環境を具体的に把握するため、各グループホームにおいて実測調査を実施した。

アンケート項目及びヒアリング項目、アンケート調査方法は「痴呆性高齢者のグループホームに関する研究（その5）」と同様である。本稿においては、グループホームの建築行為及び平面構成について類型化を行い分析している。

有効回答が得られた千葉県内のグループホーム121箇所のうち、「新築」は74箇所、「住宅改装・増築」は20箇所、「集合住宅・寮等改装・増築」は27箇所である。また121箇所のうち85箇所は千葉県北西部に集中している。その内訳は「新築」52箇所、「住宅改装・増築」16箇所、「集合住宅・寮等改装・増築」17箇所である。北東部には27箇所あり、「新築」16箇所、「住宅改装・増築」4箇所、「集合住宅・寮等改装・増築」7箇所。更に南部には9箇所あり、「新築」6箇所、「住宅改装・増築」0箇所、「集合住宅・寮等改装・増築」3箇所となっている。尚、ユニット数の合計は193（1グループホーム当たり平均1.60）、居住定員の合計は1626人（1ユニット当たり平均8.42人）、スタッフ数の合計は1546人（1ユニット当たり平均8.01人）である。尚、有効回答アンケート数の合計は367（1グループホーム当たり平均3.03）である。

4. 評価方法

アンケート項目に対する責任者及びスタッフの評価については、アンケートの回答の中で「満足」を5点、「まあ満足」を4点、「普通」を3点、「多少不満」を2点、「不満」を1点として得点化し、グループホームごとに平均得点を算出し、これを評価得点とした。

5. グループホームの建築行為及び平面構成による類型

認知症高齢者グループホームの急速な増加の背景には他の高齢者施設に比べ、規模が小さいことや改修等が容

易であることが挙げられる。そのため、新築以外にも様々な既存建物を改修したグループホームがある。このような状況の中でグループホームの建築行為を新築、住宅改装・増築、集合住宅・寮等改装・増築の3類型に分類した。更に前項と同様に平面構成により類型化を行った。

1] 新築（74 箇所）

1 ユニット（25 箇所）

①「中廊下型」（12 箇所）②「ホール型」（5 箇所）③「中廊下・片廊下併用型」（3 箇所）④「ホール・中廊下併用型」（2 箇所）⑤「回廊型」（2 箇所）⑥「ホール・片廊下併用型」（1 箇所）

2 ユニット（45 箇所）

①「中廊下型＋中廊下型」（24 箇所）②「ホール・中廊下併用型＋ホール・中廊下併用型」（9 箇所）③「ホール型＋ホール型」（7 箇所）④「回廊型＋回廊型」（3 箇所）⑤「片廊下型＋片廊下型」（1 箇所）⑥「中廊下・片廊下併用型＋中廊下・片廊下併用型」（1 箇所）

3 ユニット（4 箇所）

①「中廊下型＋中廊下型＋中廊下型」（1 箇所）②「中廊下型＋中廊下型＋ホール・中廊下併用型」（1 箇所）③「中廊下型＋ホール・中廊下併用型＋ホール・中廊下併用型」（1 箇所）④「ホール・中廊下併用型＋ホール・中廊下併用型＋ホール・中廊下併用型」（1 箇所）

2] 住宅改装・増築（20 箇所）

1 ユニット（19 箇所）

①「中廊下型」（8 箇所）②「中廊下・片廊下併用型」（5 箇所）③「片廊下型」（3 箇所）④「ホール・中廊下併用型」（2 箇所）⑤「ホール・片廊下併用型」（1 箇所）

2 ユニット（1 箇所）

①「中廊下型＋中廊下型」（1 箇所）

3] 集合住宅・寮等改装・増築（27 箇所）

1 ユニット（11 箇所）

①「中廊下型」（6 箇所）②「ホール・中廊下併用型」（3 箇所）③「ホール・片廊下併用型」（1 箇所）④「ホール型」（1 箇所）

2 ユニット（14 箇所）

①「中廊下型＋中廊下型」（8 箇所）②「中廊下型＋回廊型」（2 箇所）③「中廊下・片廊下併用型＋中廊下・片廊下併用型」（1 箇所）④「ホール・中廊下併用型＋ホール中廊下併用型」（1 箇所）⑤「ホール型＋ホール型」（1 箇所）⑥「ホ

表1 新築における平面構成の分類による面積構成(単位:m²)

		LDK	浴室	脱衣所	トイレ	居室面積	その他	使用床面積	全共用面積
回廊型(n=2)	1ユニット当たり	53.45	5.83	3.86	7.39	106.87	144.63	322.02	125.79
	一人当たり	5.94	0.65	0.43	0.82	11.87	16.07	35.78	13.98
回廊型＋回廊型(n=3)	1ユニット当たり	47.12	6.45	3.33	8.69	121.48	188.54	375.60	65.58
	一人当たり	5.65	0.77	0.40	1.04	14.58	22.62	45.07	7.87
中廊下・片廊下併用型(n=3)	1ユニット当たり	30.84	4.63	5.08	5.51	77.35	76.19	199.60	122.25
	一人当たり	4.41	0.66	0.73	0.79	11.05	10.88	28.51	17.46
中廊下型(n=12)	1ユニット当たり	47.66	5.98	5.21	12.92	109.44	125.21	303.72	146.65
	一人当たり	5.45	0.68	0.60	1.48	12.51	14.31	34.71	16.76
中廊下型＋中廊下型(n=24)	1ユニット当たり	51.10	7.70	7.07	9.84	105.53	107.24	282.68	136.45
	一人当たり	5.91	0.89	0.82	1.14	12.21	12.40	32.70	15.78
ホール・中廊下併用型(n=2)	1ユニット当たり	53.39	4.43	4.75	6.56	86.57	116.66	233.18	146.61
	一人当たり	6.28	0.52	0.56	0.77	10.18	13.72	27.43	17.25
ホール・中廊下併用型＋ホール・中廊下併用型(n=9)	1ユニット当たり	56.72	5.60	7.59	10.63	117.47	106.18	303.91	171.78
	一人当たり	6.30	0.62	0.84	1.18	13.05	11.80	33.77	19.09
ホール型(n=5)	1ユニット当たり	58.45	5.04	6.14	7.40	82.82	62.35	212.20	77.03
	一人当たり	7.90	0.68	0.83	1.00	11.19	7.07	28.68	10.41
ホール型＋ホール型(n=7)	1ユニット当たり	62.07	5.39	5.46	8.49	118.97	111.41	311.82	146.01
	一人当たり	7.12	0.62	0.63	0.97	13.65	12.78	35.78	16.76
新築(n=67)	1ユニット当たり	51.20	5.67	5.39	8.60	102.94	114.27	282.75	126.46
	一人当たり	6.11	0.68	0.65	1.02	12.26	13.52	33.60	15.04

表2 住宅改装・増築における平面構成の分類による面積構成(単位:m²)

		LDK	浴室	脱衣所	トイレ	居室面積	その他	使用床面積	全共用面積
片廊下型(n=3)	1ユニット当たり	31.18	3.49	2.14	3.77	93.68	67.02	201.28	40.58
	一人当たり	3.90	0.44	0.27	0.47	11.71	8.38	25.16	5.07
中廊下・片廊下併用型(n=5)	1ユニット当たり	46.64	5.30	4.50	6.79	111.26	106.37	280.86	127.08
	一人当たり	5.69	0.65	0.55	0.83	13.57	12.97	34.25	15.50
中廊下型(n=8)	1ユニット当たり	24.87	4.01	2.72	2.54	72.40	52.55	159.09	42.62
	一人当たり	3.68	0.59	0.40	0.38	10.73	7.79	23.57	6.31
ホール・中廊下併用型(n=2)	1ユニット当たり	33.54	3.02	2.89	3.21	88.88	36.29	167.82	62.33
	一人当たり	4.19	0.38	0.36	0.40	11.11	4.54	20.98	7.79
住宅改装・増築(n=18)	1ユニット当たり	34.06	3.96	3.06	4.08	91.55	65.56	202.26	68.15
	一人当たり	4.37	0.51	0.40	0.52	11.78	8.42	25.99	8.67

表3 集合住宅・寮等改装・増築における平面構成の分類による面積構成(単位:m²)

		LDK	浴室	脱衣所	トイレ	居室面積	その他	使用床面積	全共用面積
中廊下型(n=6)	1ユニット当たり	60.63	8.76	3.57	10.34	127.09	89.62	300.01	83.29
	一人当たり	7.13	1.03	0.42	1.22	14.95	10.54	35.29	9.80
中廊下型＋中廊下型(n=8)	1ユニット当たり	31.40	4.61	4.14	8.41	97.06	91.86	237.48	82.91
	一人当たり	3.72	0.55	0.49	1.00	11.50	10.89	28.15	9.83
中廊下型＋回廊型(n=2)	1ユニット当たり	50.89	5.08	6.79	12.52	90.54	123.84	289.66	110.69
	一人当たり	7.02	0.70	0.94	1.73	12.49	17.08	39.95	15.27
ホール・中廊下併用型(n=3)	1ユニット当たり	39.57	4.38	5.43	8.95	103.81	59.92	222.05	93.00
	一人当たり	4.40	0.49	0.60	0.99	11.53	6.66	24.67	10.33
集合住宅・寮等改装・増築(n=19)	1ユニット当たり	45.62	5.71	4.98	10.05	104.63	91.31	262.30	92.47
	一人当たり	5.57	0.69	0.61	1.23	12.62	11.29	32.02	11.31

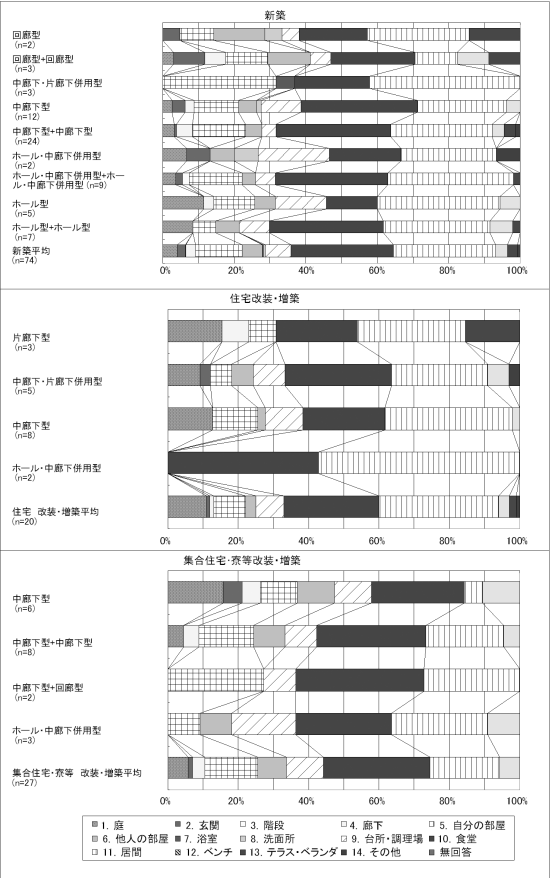


図1 高齢者の集まる場所

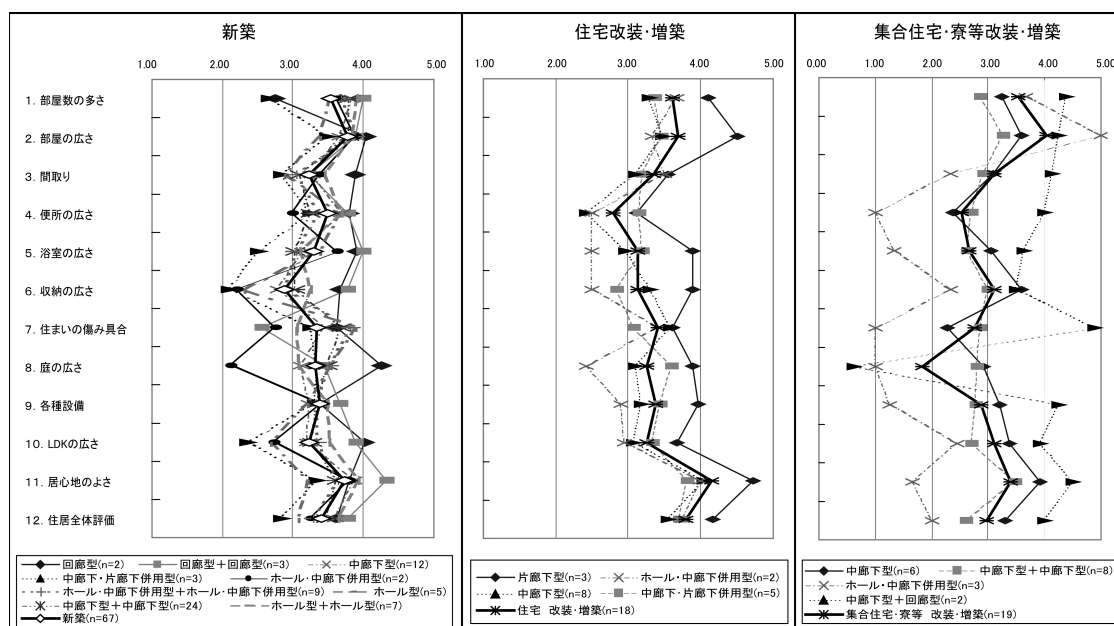


図2 建物に関する満足度 ※平面構成において2以上のグループホームのある類型を対象としている

ール型+中廊下型」(1箇所)

3ユニット (2箇所)

①「中廊下・片廊下併用型+片廊下型+片廊下型」(1箇所)

②「中廊下型+中廊下型+中廊下型」(1箇所)

6. 建築行為及び平面構成の分類における比較・分析

(表1, 2, 3, 図1, 2)

6.1 新築

面積構成において、LDK空間の一人当たりの面積は「ホール型」(1ユニット:以下1Uと記述)「ホール型+ホール型」(2ユニット:以下2Uと記述)の2類型が大きく、「中廊下・片廊下併用型」(1U)が最も小さい。居室の一人当たりの面積は「回廊型+回廊型」(2U)が最も大きく、次いで「ホール型+ホール型」(2U)となった。また、廊下部分を含む「その他」の面積は「回廊型+回廊型」(2U)が非常に大きく、使用床面積の50%を超えている。

高齢者の集まる場所において、LDK空間に集まる割合が最も高い類型は「ホール・中廊下併用型+ホール・中廊下併用型」(2U) 72.23%であり、次いで「ホール型+ホール型」(2U) 70.21%である。「回廊型」(1U)及び「回廊型+回廊型」(2U)はそれぞれ52.38%、41.17%と低く、2類型とも「自分の部屋」及び「他人の部屋」を合わせた「部屋」(：以下「部屋」と記述)に集まる割合が「中廊下・片廊下併用型」(1U)を除く他の類型に比べ高い。

建物に関する満足度において、LDK空間の広さに関する評価は「回廊型」(1U)「回廊型+回廊型」(2U)の評価が高く、「中廊下・片廊下併用型」(1U)「ホール型」(1U)

「ホール・中廊下併用型」(1U)の評価が低い。各種設備の評価は大きな違いは見られない。ソフト面を評価している「居心地の良さ」は「回廊型+回廊型」(2U)が最も評価が高く、次いで「ホール型+ホール型」(2U)となっている。「ホール型」(1U)の評価は低い。グループホームの総合的な評価となっている「住居全体評価」の項目では「回廊型」(1U)及び「回廊型+回廊型」(2U)が高い評価を得ており、「中廊下・片廊下併用型」(1U)「ホール型」(1U)は低い評価である。

6.2 住宅改装・増築

面積構成において、LDK空間・居室ともに「中廊下・片廊下併用型」(1U)の面積が類型中最も大きい。この類型は使用床面積も類型中最も大きく、他の住宅改装・増築の類型に比べ規模が大きいといえる。「中廊下型」(1U)はLDK空間・居室ともに類型中最も小さい面積である。

高齢者の集まる場所において、LDK空間に集まる割合が最も高いのは「ホール・中廊下併用型」100.00%であり、次いで「中廊下型」(1U) 70.21%である。また、「片廊下型」(1U) 53.85%が最も低い。「部屋」の割合は「中廊下型」(1U)が類型中最も高い。「片廊下型」(1U)は「廊下」に集まる割合が他の類型よりも高く、また「テラス・ベランダ」の項目も高い。

建物に関する満足度において、「片廊下型」(1U)はLDK空間の広さに関する評価が高く、「中廊下型」(1U)「ホール・中廊下併用型」(1U)は評価が低い。各種設備では「ホール・中廊下併用型」(1U)がやや低い評価となった。

「居心地の良さ」は「片廊下型」(1U)が高く「中廊下・片廊下併用型」(1U)の評価は低いが、住宅改装・増築は他の建築行為の類型に比べ「居心地の良さ」の評価は高い。「住居全体評価」においても「片廊下型」(1U)が最も高い評価となっており、「中廊下型」(1U)の評価が低い。

6.3 集合住宅・寮等改装・増築

面積構成において、LDK 空間・居室ともに「中廊下型」(1U)の面積が大きい。また「中廊下型+回廊型」(2U)の LDK 空間の一人当たりの面積もほぼ同程度であり大きい。「中廊下型+中廊下型」(2U)は LDK 空間・居室ともに一人当たりの面積が類型中最も小さい。「中廊下型+回廊型」(2U)は「その他」の面積が大きい。

高齢者の集まる場所において、LDK 空間に集まる割合が最も高いのは「中廊下型+回廊型」(2U)「ホール・中廊下併用型」(1U)がともに 72.72%である。割合が最も低い類型は「中廊下型」(1U) 42.11%である。「部屋」に集まる割合は「中廊下型+回廊型」(2U)が最も高く、「ホール・中廊下併用型」(1U)が最も低いが、「新築」「住宅改装・増築」の各類型よりも「部屋」に集まる割合は高い。

建物に関する満足度において、LDK 空間の広さに関する評価では「中廊下型+回廊型」(2U)が類型中最も高く、「ホール・中廊下併用型」(1U)が最も低い。「ホール・中廊下併用型」(1U)は「各種設備」の評価が他の類型に比べ低い。また「居心地の良さ」「住居全体評価」とともに「中廊下型+回廊型」(2U)が最も高く、「ホール・中廊下併用型」(1U)が最も低い。

7. まとめ

建築行為及び平面構成による類型化を行い、面積構成、高齢者の集まる場所、建物についての満足度について比較・分析を行った。建築行為別に住居全体評価の高低をそれぞれ以下の表に示し、各々の特徴を要約する。

住居全体評価	新築	住宅改装・増築	集合住宅・寮等改装・増築
高い	回廊型+回廊型(2U)	片廊下型(1U)	中廊下型+回廊型(2U)
低い	中廊下・片廊下併用型(1U)	中廊下型(1U)	ホール・中廊下併用型(1U)

1) 新築

「回廊型+回廊型」(2U)は高齢者にとって行き止まりがなく回遊できる平面構成である。そのため、廊下や突き当り等に高齢者が休めるスペースが計画されていれば高齢者にとって憩いのスペースとなり得る。高齢者の集まる割合において「廊下」が類型中最も高く、有効に利用

されていると考えられ、このことは他の類型にはない特徴であり、この類型の評価の高い理由であるといえる。「中廊下・片廊下併用型」(1U)は、LDK 空間の一人当たりの面積が小さく居室も平均値を下回っている。LDK 空間・「部屋」とともに広さに関する満足度は類型中最も低い。高齢者の集まる場所を見ると、高齢者は自分の部屋で多くの時間を過ごしており、せまい LDK 空間が自分の部屋で過ごす時間を増加させていると考えられ、その部屋にも満足できていないため評価が低いといえよう。

2) 住宅改装・増築

「片廊下型」(1U)は他の類型に比べ「庭」「テラス・ベランダ」に集まる高齢者の割合が高くなっている。これは「片廊下」という廊下の形状が他の類型よりも外部空間に多く面していることが理由として考えられ、庭等外部空間をより身近な存在として認識できる。高齢者が庭等外部空間を気軽に利用できる環境があり、そのことが評価を高くしていると考えられる。「中廊下型」(1U)は LDK 空間・居室ともに一人当たりの面積が小さく、満足度ともに平均値を下回っている。しかし高齢者は LDK 空間及び部屋に集まる割合が 85%を超えており、LDK 空間及び部屋が狭く、またその他に集まれる場所が整備されていないため評価が低いといえよう。

3) 集合住宅・寮等改装・増築

「中廊下型+回廊型」(2U)は LDK 空間・居室ともに面積は平均値以上であり、全共用空間面積は類型中最も大きい。また新築同様『回廊型』の良さがあると考えられ、十分な広さが確保されているといえ評価が高い。「ホール・中廊下併用型」(1U)は LDK 空間が直接居室に面している平面構成である。居住者の専用空間である居室から直接共用空間の LDK 空間につながるよりも、廊下を経由した方がより評価が高いと考えられる。グループホームの中で居室が唯一高齢者の個人的な空間であり、直接 LDK 空間に接することは個々のプライバシーを守ることができない状況が生まれるためと考えられる。

- ※1 WHO(世界保健機関)では7%以上を高齢化社会、14%以上を高齢社会、20%以上を超高齢化社会と定めている。
※2 ゴールドプラン 21 では、平成 16 年度までの目標値を全国で3,200 箇所としていた。しかし、平成 15 年6月ではすでに目標値を上回り、現在も更に増加している。

本論文に関連する既発表論文

- I) 川岸 梅和、染谷 佐登子、梅木 千恵子「痴呆性高齢者のグループホームに関する研究 - 千葉県内のグループホームにおけるケーススタディ -」日本建築学会計画系論文集 第 580 号, 141-147, pp. 2004, 6
II) 川岸 梅和 他「痴呆性高齢者のグループホームに関する研究, その 2-4」日本大学生産工学部学術講演会建築部会講演概要, 第 33 回, pp. 121-124, 2000. 12 第 34 回, pp. 89-92, 2001. 12 第 35 回, pp. 5-8, 2002. 12 第 36 回, pp. 247-250, 2003. 12
III) 川岸 梅和、染谷 佐登子、半沢 英理子「痴呆性高齢者グループホームの立地環境及び住空間構成に関する研究 - 千葉県内のグループホームにおけるケーススタディ -」日本大学生産工学部研究報告 A, pp. 9-20, 2002.